発行月：平成 29年 9月　**家族新聞**　第516

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議
編集者：代表幹事　髙橋
連絡先：市民活動支援セン
尾張旭市渋川町三丁目5番地
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878

花育

柏井保育園
藤池保育園

平成29年9月5日　柏井保育園
平成29年9月6日　藤池保育園

皆んなと一緒に花を植え、ワイワイガヤガヤ　この行動が重みになって新しい積み増しができるのです。

柏井保育園◀

柏井保育園▶

百四歳まで生きた詩人のまど・みちおさんは、「イネ科の穂のあるような"草"が好きだった」という。草むしりで真っ先に抜かれるような植物が大好きで、「見てって飽きないんです」と言っていた。「どんな小さなものでも／みつめていると／宇宙に／つながっている」で詩人は、人間の好みに合わせ作られた園芸植物ではなく、野生の草が好きな訳をこう語っていた。「どこにでも見られる、葉っぱのとがったイネ科の草は、人にこびたところが全然なくて、自分勝手に生きてるでしょ。穂もきれいに見える」

▶柏井保育園

ものもない。そんなイネ科の生命力のなせる技か。

海底火山の噴火で面積が十二倍ほどにもなった小笠原諸島の西之島研究者が先日上陸したところ、過酷な環境にもかかわらず、イネ科のオヒシバが生き残っていたという。「今は溶岩だけで土のないところも、鳥が巣を営みフンをすることで、植物に必要なリンや窒素がもたらされる。人の手が入らぬ地で新たな生物相がどうできるか、世界的に貴重な観察の場ですと話す。東京から千キロはるか遠い島で草や鳥が織りなす生命の絵巻を、まどさんは天上から飽きることなく見つめているかもしれぬ。

残念ながら雨の為実力で花の植える大切さを語りました▼

◀藤池保育園

▶藤池保育園